

# 2011年3月期 第2四半期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2010年10月27日

代表取締役社長 赤尾 泰

**(本プレゼンテーションに関する注意)**

本資料における前連結会計年度(2010年3月期)の業績数値は、旧NECエレクトロニクス(株)と旧(株)ルネサス テクノロジーの前連結会計年度の業績数値を単純合算したものであります。なお、「売上高」および「半導体売上高」については、旧NECエレクトロニクス(株)の表示方法と整合させるために旧(株)ルネサス テクノロジーについて一部組替表示しております。

**(将来予測に関する注意)**

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略および業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

## エグゼクティブサマリー

- **上期売上高はほぼ想定どおり。  
原価率改善及び統合シナジー・製品ポートフォリオの見直し  
による研究開発費効率化により営業損益は黒字転換。**
- **下期の営業損益は黒字を維持。  
売上高は市況の鈍化や為替の影響により、  
上期比横ばいレベルで期初想定を下回る見通し。**
- **通期で70億円の営業利益の達成を目指す。**

# I. 2011年3月期 第2四半期決算概要

# 2011年3月期 第2四半期(7-9月期)決算概要

- 第2四半期の売上高は、前四半期比1%増収
- 営業損益は黒字を達成

(単位：億円)	2010年3月期		2011年3月期		
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	前年同期比	前四半期比
売上高	2,650	2,920	2,954	+304	+34
半導体売上高	2,344	2,615	2,635	+291	+20
営業損益	△439	△3	11	+450	+14
経常損益	△484	△35	△43	+441	△7
当期純損益	△548	△331	△82	+466	+249
1US\$=	-	92円	88円	-	4円/円高
1ユーロ=	-	121円	111円	-	10円/円高

# 2011年3月期 第2四半期半導体売上高(前年同期比、前四半期比)

■ 前年同期比では、マイコンおよびアナログ&パワー半導体が大きく成長

	2011年3月期		
	第2四半期	前年同期比(%)	前四半期比(%)
半導体売上高	2,635	+12%	+1%
マイコン	959	+17%	△3%
アナログ&パワー半導体	835	+30%	+1%
SoC	832	△5%	+7%
その他半導体	9	+30%	△53%

## 事業別売上概況(前四半期比)

### マイコン

【→】: 汎用は横ばい  
【↓】: 自動車は国内を中心に減収

### アナログ&パワー半導体

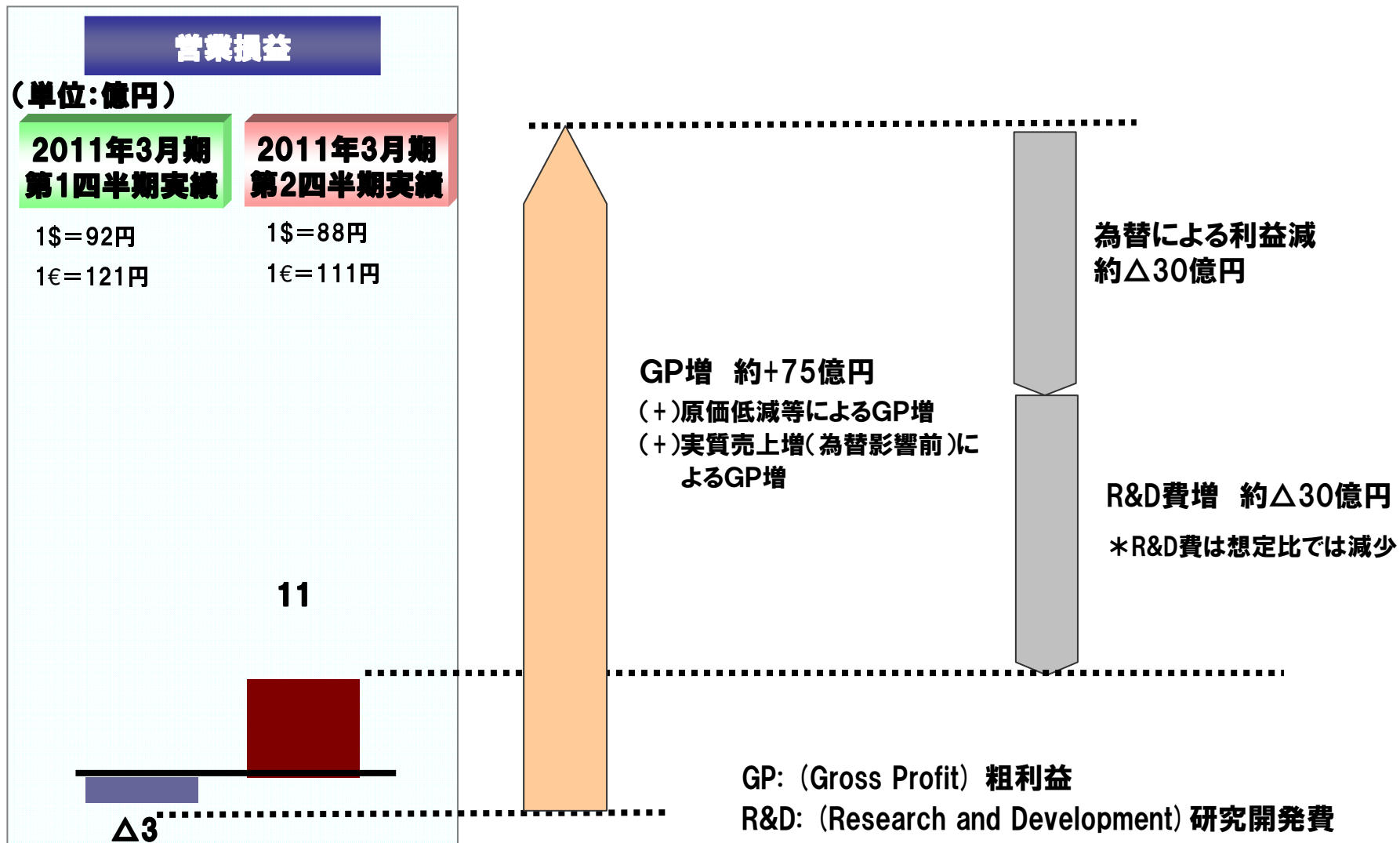
【↑】: パワー半導体は堅調  
【↓】: 表示ドライバは需要減による減収

### SoC

【↑】: 民生機器、産業機器分野は増収  
【↓】: 通信機器分野は国内携帯向けを中心に減収

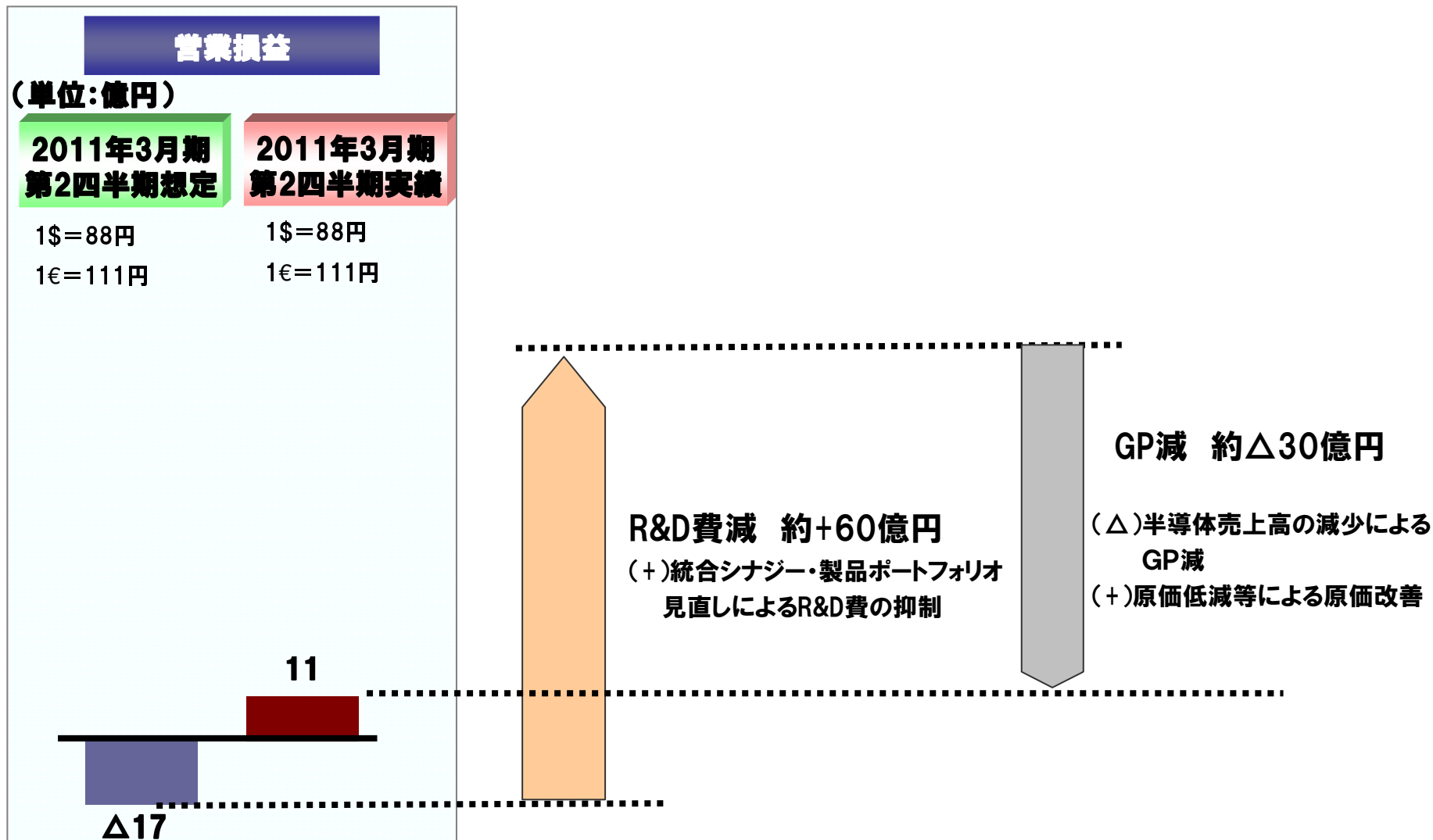
# 2011年3月期 第2四半期営業損益(前四半期比)

■ 第2四半期営業損益は、黒字を達成



# 2011年3月期 第2四半期営業損益(想定比)

■ 第2四半期の営業損益は、売上高が期初想定より下回る中、増益を確保



# バランスシート

(単位:億円)

	10/4期首 (増資後)	10/6末	10/9末
総資産	12,154	11,510	11,627
うち 現金及び現金同等物	3,377	3,186	3,318
うち たな卸資産	1,266	1,307	1,359
負債合計	8,017	7,775	7,992
うち 有利子負債	3,720	3,754	3,744
株主資本	4,210	3,880	3,798
純資産合計	4,136	3,735	3,635
D/Eレシオ(グロス)	0.91倍	1.02倍	1.05倍
D/Eレシオ(ネット)	0.08倍	0.15倍	0.12倍
自己資本比率	33.5%	31.9%	30.7%

(注1)①現金及び現金同等物:「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3か月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「1年内償還予定の新株予約権付社債」、「リース債務」、「新株予約権付社債」、「長期借入金」

③自己資本:「株主資本」、「評価・換算差額等」

④D/Eレシオ(グロス):有利子負債/自己資本

⑤10/4期首(増資後)の負債合計には、負ののれん22億円を便宜的に含めております。

(注2)「10/4期首(増資後)」の数値は、当連結会計年度期首の数値に2010年4月1日付の企業結合に係る会計処理および同日付の第三者割当増資約1,346億円を反映した数値です。

# キャッシュ・フロー

(単位：億円)	2010年3月期	2011年3月期		
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	上期
営業活動による キャッシュ・フロー	180	△20	350	330
投資活動による キャッシュ・フロー	△162	△144	△184	△328
フリー・ キャッシュ・フロー	18	△164	166	2

## II. 2011年3月期 下期および通期業績見通し

# 2011年3月期 通期業績見通し

- 100日プロジェクトのプランを着実に実行することにより、営業黒字を確保
- 売上高は、足元の市況鈍化や為替の影響を考慮し、下期および通期を修正

(単位：億円)	2010年3月期			2011年3月期			
	上期	下期	通期	上期実績	下期見通し	通期見通し	前回発表比 (7月29日)
	<b>売上高</b>	5,003	5,621	10,624	5,875	5,825	11,700
<b>半導体売上高</b>	4,431	4,994	9,425	5,250	5,250	10,500	△400
<b>営業損益</b>	△879	△254	△1,133	7	63	70	-
<b>経常損益</b>	△934	△320	△1,253	△78	28	△50	-
<b>当期純損益</b>	△992	△385	△1,378	△412	△388	△800	-

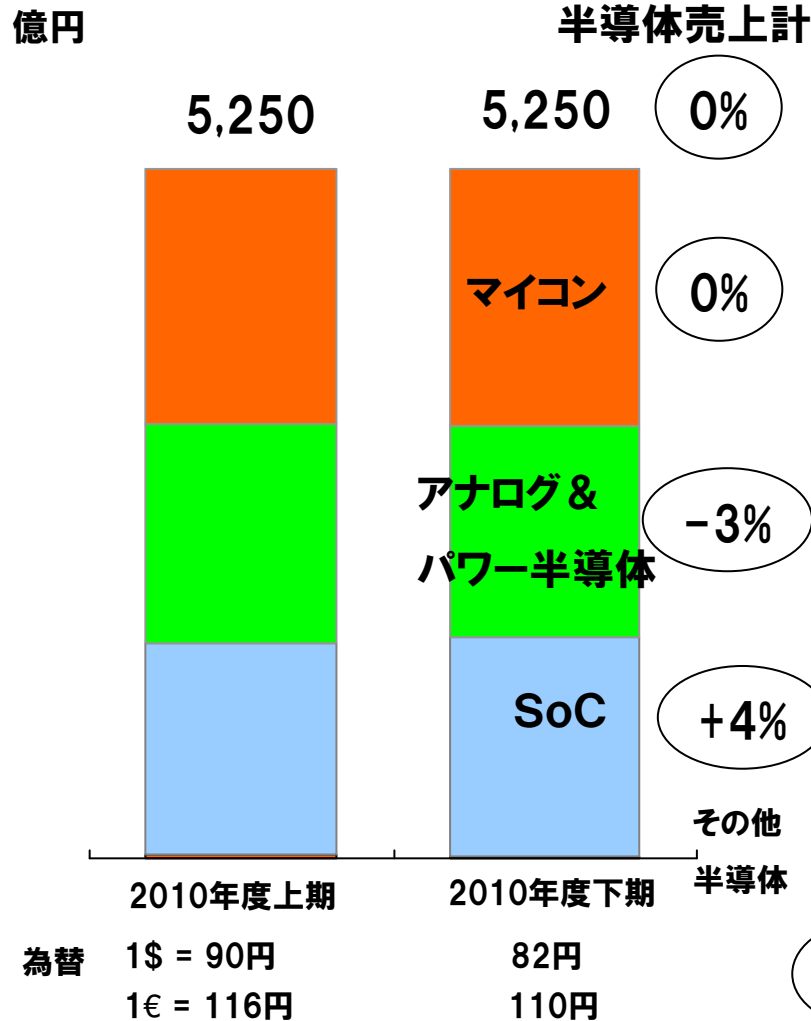
  

1US\$=	90円	82円
1ユーロ=	116円	110円

# 下期半導体売上高の見通し

■ 上期実績比で横ばいの見込みだが、為替の影響を除けば実質売上増

2011年3月期



## 事業別売上概況(上期比)

マイコン 上→下期比 横ばい	【→】: 自動車は4Qにかけ需要回復、汎用は横ばい
アナログ&パワー半導体 上→下期比 △3%	【↓】: PC周辺(HDD、光ディスク等)向け在庫調整あり アナログIC需要減
SoC 上→下期比 +4%	【↑】: モバイル向けを中心に増収(カメラLSI、*CIS等) 【↑】: DTV向け画像処理ASIC堅調

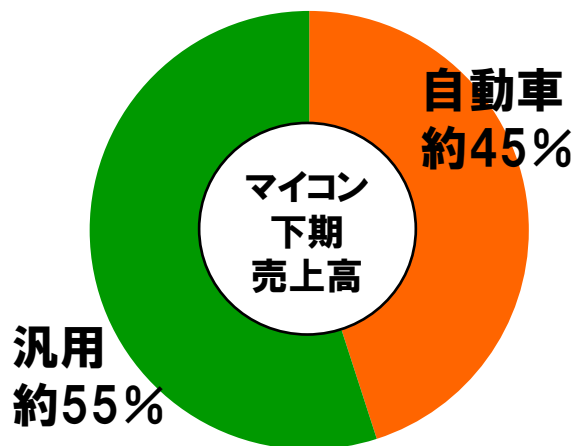
\*CIS:カーナビゲーションを中心としたカー・インフォメーション・システム

伸長率

# マイコン事業 下期売上見通し

## 事業分野の当社見通し（10年度上期→下期）

### マイコン事業の内訳



自動車分野	市場動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国、中国、新興国市場の自動車販売は引き続き好調で生産台数増の見通し</li> <li>・国内はエコカー補助金終了に伴い販売減</li> </ul>
	当社動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国、新興国市場向けは引き続き需要強い</li> <li>・国内向け受注はエコカー補助金終了に伴い減少傾向だが、自動車生産の表期でもあり、年明けからの需要回復に期待</li> </ul>
汎用分野	市場動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生機器分野を中心に季節要因で需要は軟化の見通し</li> </ul>
	当社動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバータ機器中心に需要堅調の見込み</li> <li>・産業分野の好調や中国市場のスマートメータ等の拡大期待</li> </ul>

下期売上  
見通し  
(上期比)



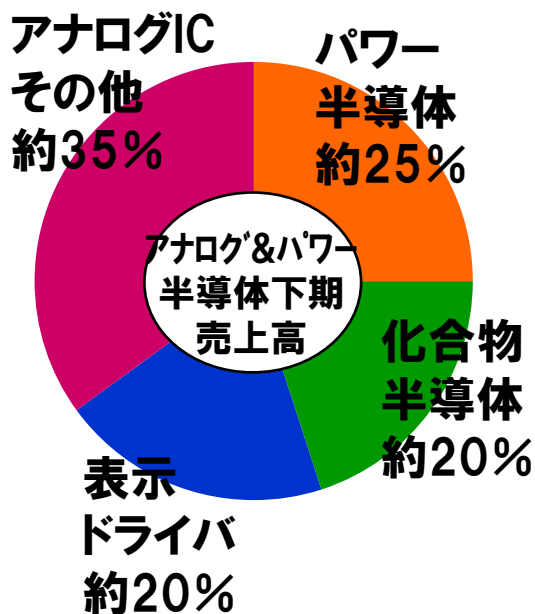
下期売上  
見通し  
(上期比)





# アナログ&パワー半導体事業 下期売上見通し

## 事業分野の当社見通し（10年度上期→下期）

### アナログ&パワー半導体事業の内訳

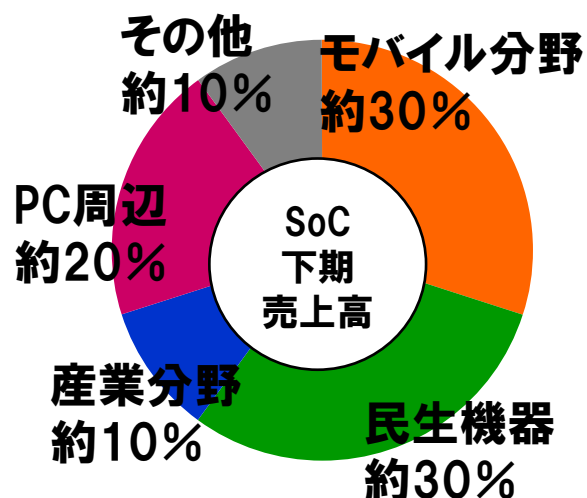


<b>パワー半導体分野</b> 下期売上見通し(上期比) 	<b>市場動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC市場の在庫調整により、マザーボード、電源が一時失速も年明けには回復見通し</li> <li>・自動車は西欧・日本が減速するも、新興国需要が牽引し、堅調に推移する見通し</li> </ul>
	<b>当社動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年内は新興国向けインバーター家電、産業用途、年明けはPC分野向け中心に伸長見込み</li> <li>・自動車分野向けは表期である年明けから需要回復を見込み、通期で堅調の見込み</li> </ul>
<b>アナログICその他分野</b> 下期売上見通し(上期比) 	<b>市場動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC周辺(HDD、光ディスク等)市場はPC市場は回復するも、在庫過多で、調整続く</li> <li>・自動車は新興国向け需要が牽引し、堅調維持の見込み</li> </ul>
	<b>当社動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC周辺(HDD、光ディスク等)向け部品の在庫調整続く。</li> <li>・自動車向けは堅調維持の見込み</li> </ul>

# SoC事業 下期売上見通し

## 事業分野の当社見通し（10年度上期→下期）

### SoC事業の内訳



<b>モバイル分野</b> (携帯、*CIS)  下期売上見通し (上期比) 	<b>市場動向</b>  ・スマートフォンが先進国の買い替え需要を喚起 ・新興国における新規需要好調 ・W/W全体では携帯電話需要は堅調の見通し
	<b>当社動向</b>  ・スマートフォン向けカメラLSI好調の見込み ・新興国における買い替え需要に伴い、パワーアンプの伸長に期待 ・*CIS向け堅調の見込み
<b>民生機器分野</b>  下期売上見通し (上期比) 	<b>市場動向</b>  ・年末商戦後、季節要因で需要一服の見通し
	<b>当社動向</b>  ・需要の裏期にあたり全体的に需要減なるも、画像処理ASICなどを中心に堅調の見通し
<b>産業機器分野</b>  下期売上見通し (上期比) 	<b>市場動向</b>  ・産業機器市場は引き続き需要堅調の見通し
	<b>当社動向</b>  ・中国、新興国を中心に堅調な需要が続く見込み

\*CIS:カーナビゲーションを中心としたカー・インフォメーション・システム

# 2011年3月期下期 営業損益見込み(上期比)

■ 下期は100日プロジェクトで策定したプランを実行することにより営業黒字は確保

## 営業損益

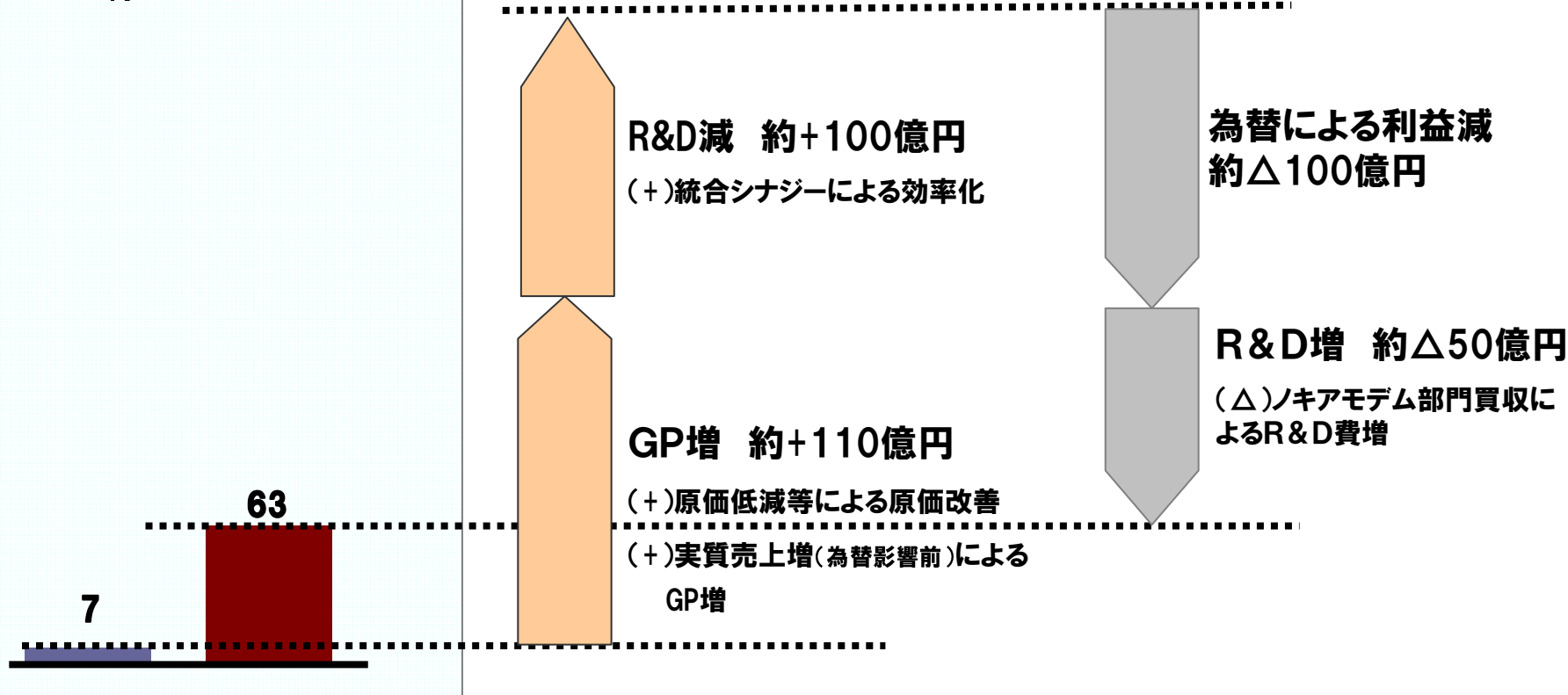
(単位:億円)

2011年3月期  
上期実績

1\$ = 90円  
1€ = 116円

2011年3月期  
下期見込み

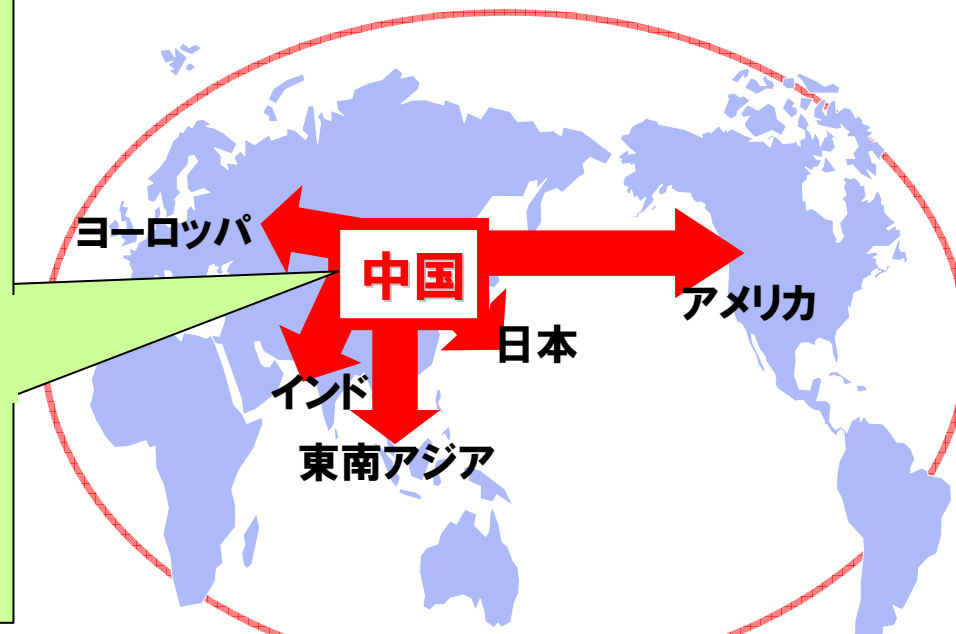
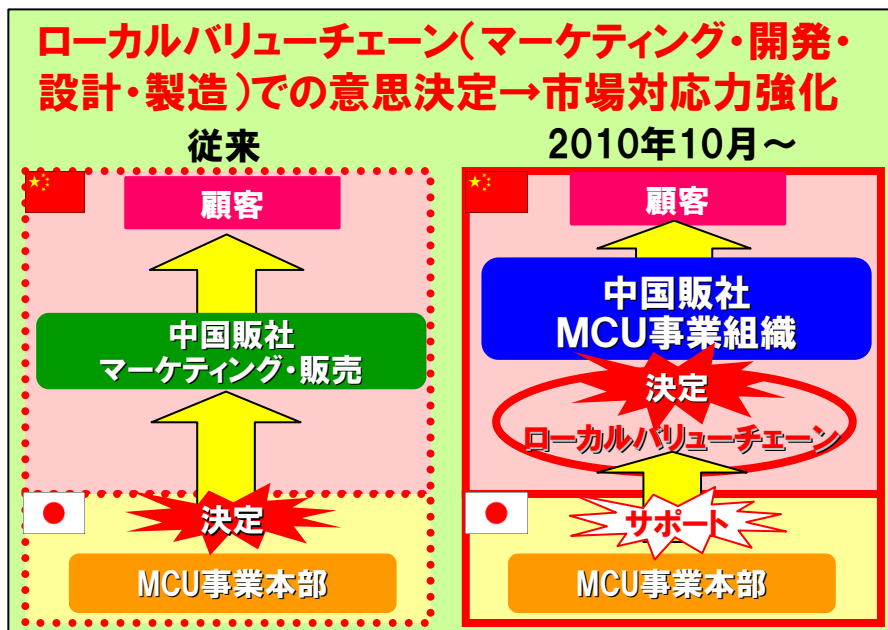
1\$ = 82円  
1€ = 110円



### III. 100日プロジェクトの進捗状況

# 中国に専任のMCU事業組織を設立

- W/W市場を牽引する中国市場を最重要視し、10月1日より中国市場向けマイコン事業体制を強化
- 激変する中国市場の環境・顧客ニーズを迅速に捉え、Just in Function Just in Quality を実現
- W/WシェアNo. 1マイコンのグローバルなサポート基盤上で、競争力ある製品の全方位展開



最重要市場として中国市場向け事業体制を強化し、成長マーケットに注力

競争力のある中国市場向け開発製品をグローバル市場に展開

W/WシェアNo. 1のルネサスマイコンのグローバルサポート基盤


グローバルな  
マーケティング & 製品



グローバルな  
サプライチェーン



グローバルな  
エンジニアリング  
サポート



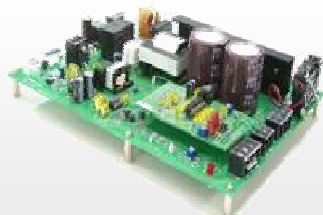
# アナログ & パワー事業の強化推進

## 市場成長以上の成長を実現

市場アウトパ  
フォームを目指  
した成長施策

- ・低圧から高圧までの**パワー製品ラインアップ強化(3年間で1,000製品投入)**
- ・マイコン商流を活用したアナログ・パワー・光デバイスの統合キットを拡大し、中国をはじめとする新興国の顧客が容易にセットを開発できるソリューションを提供することで販売を促進
  - **リファレンスボードの提供**
  - **総合版ドキュメントの提供(アプリケーションカタログ107分野完)**
  - **応用技術資料・電源設計支援ツールの提供**

リファレンスボードの例



力率改善AC入力電源



LED照明制御



リチウムイオン電池制御

成長基盤の  
拡充

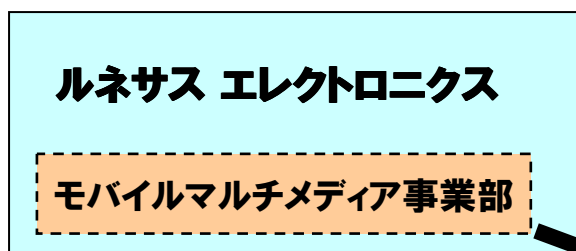
- 前工程:6インチ→8インチ化及びファブネットワーク(甲府、滋賀)の推進
- 後工程:順次海外展開

# モバイルマルチメディアSoC事業の強化

- モバイルマルチメディア事業の新会社設立及び新会社への事業の吸収分割契約締結
- LTEモデムチップセットの新規受注獲得

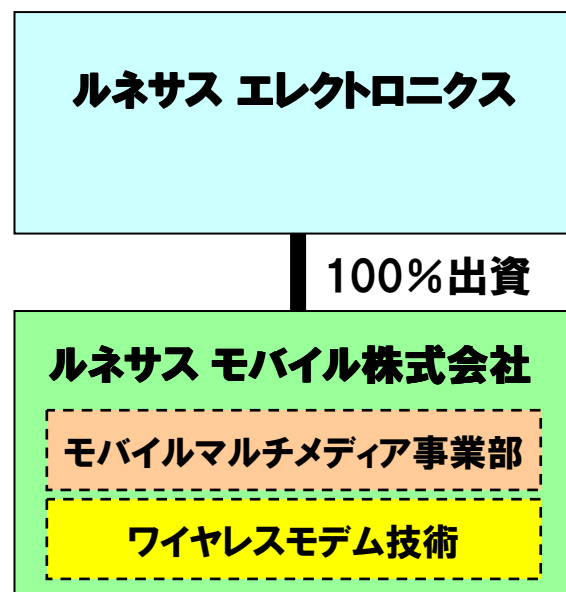
ノキアワイヤレスモデム事業の買収完了

2010年11月30日



ルネサスモバイル株式会社の発足

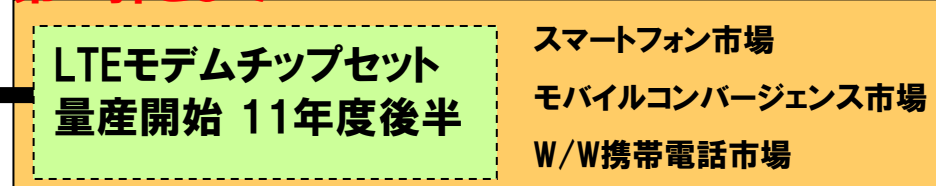
2010年12月1日



吸収分割

事業譲渡

第一弾として



# 統合シナジー

## 販売効率の向上

### □販売商流の効率化

- ✓特約店商流の整理(30社⇒16社)の実施、10月1日より新商流でスタート

### □販売拠点の統合

- ✓国内主要支社/支店17拠点→11拠点へ統合  
さらに5拠点を閉鎖し6拠点へ(12月末)
- ✓海外の各地域の重複していた販売拠点(販社/事務所含む)統合ほぼ完了

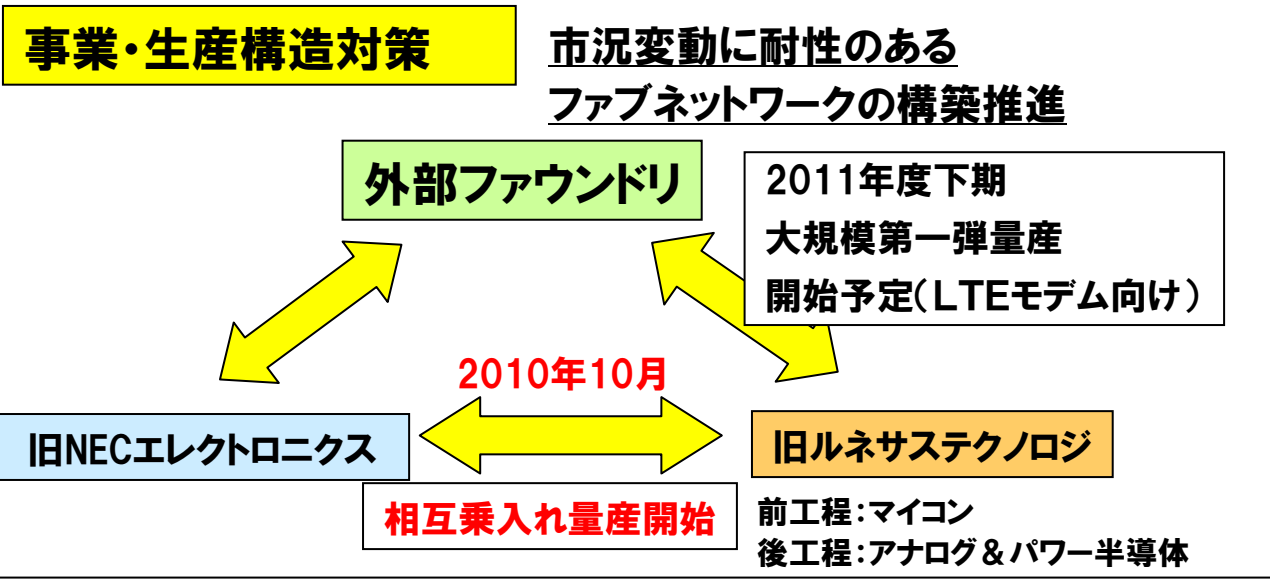
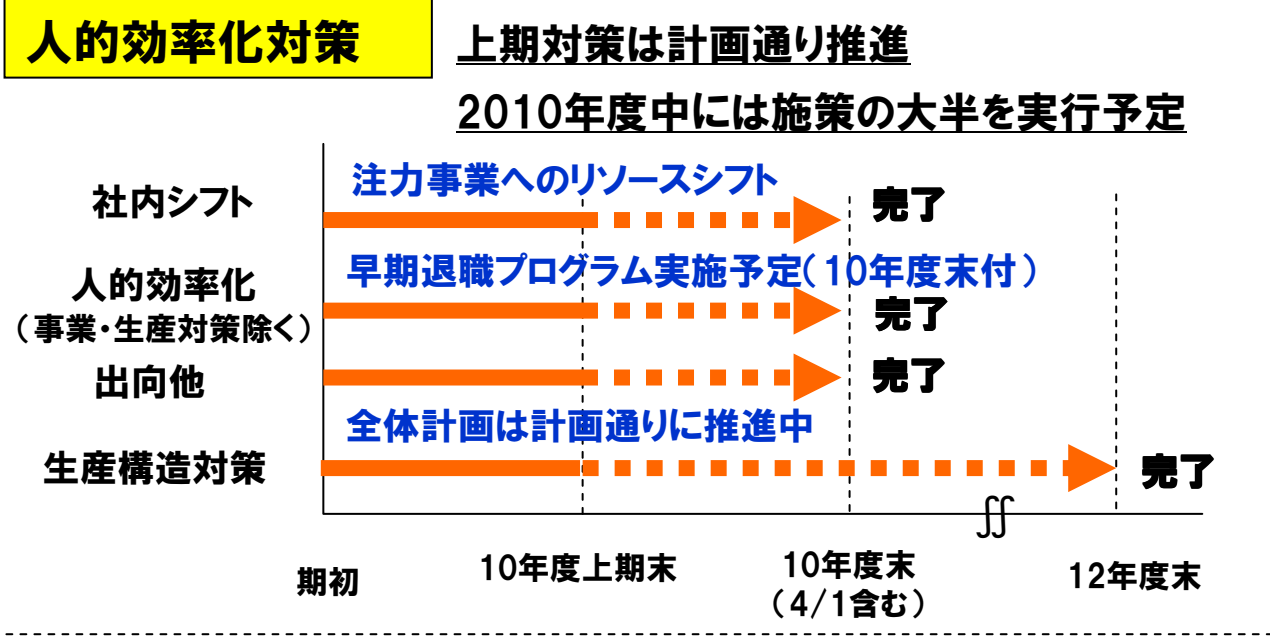
### □物流、倉庫、情報システムなどの統合(計画通り推進中)

- ✓国内、海外倉庫の統合推進
- ✓輸出業者の集約、梱包材・業務の統一

## 製品の統合、設計技術力の向上、生産効率の改善

- 低価格系新マイコンの今年度内投入に向け準備大詰め(旧2社コアは統合へ)
- 開発環境を統合し設計費用削減(計画通り推進中)
- チップサイズ縮小、PKG小型化、テスト時間短縮等(計画通り推進中)

# 構造対策



構造対策を  
 計画通り推進。  
 必達に向け  
 実行中

## IV. まとめ

- 下期については、市況の鈍化や為替の影響があるものの、売上高は上期比で横ばいの見通し。
- 100日プロジェクトで策定したプランを着実に実行し営業黒字を必達。
- 来年度の当期黒字、中期的な営業利益率2桁を実現するため、構造対策を推進。

**RENESAS**

**ルネサス エレクトロニクス株式会社**

© 2010 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.